



ROLLING  
25th anniversary

# ローリング療法



第4回養原ローリング療法協会学術大会が執り行われました。

日付..平成25年12月8日

場所..明治記念館



各先生方の研究発表を簡易的ですが、ご報告します。



吹田ローリング健康センター  
下山 典夫 先生  
高校サッカー競技における  
トレーナー活動報告

立正大学 浜南高校 サッカー部のトレーナー活動報告。  
大会終了までの10日間の活動について、状況に応じた施術内容、注意点を具体的に発表。サッカー競技のトレーナーとして、治療の際意識している点。【腹部の硬さ】腹部(内臓)の硬さや働きの悪さがスタミナ低下や回復力の遅さにつながると考える。【背部・股関節の柔軟性】サッカーという競技のイメージから下半身に目がいきがちだが肩甲骨・股関節の柔軟性がプレーの幅を広げると考える。スポーツの現場においてローリング療法の長所である【即効性】・【疲労回復】・【筋肉の弛緩】などを最大に生かし、「コンディショニングの向上」や「ベストパフォーマンス」を引き出すきっかけになれる様に努めている。



川西ローリング健康センター  
養原 佑斗 先生  
疲労度の解析とローリング療法による  
自律神経機能改善の客観的評価

結論から、ご報告。「ローリング療法は「疲労解消」に効く」人間関係仕事睡眠不足等で発生するストレスにより疲労は蓄積されていく。6カ月以上の疲労を訴える人(400万人) 文部科学省疲労研究班の調査(2004年)より、自律神経機能を解析し、「疲労度」を測定。ローリング療法による疲労の改善データ。プロアスリート(19才) Total Power 値の変化 元々Total Power 値500台だったのが、2013年9月25日~11月6日までのローリングでTotal Power 値500を越える値へ変化。自律神経機能を高めるのに効果の高いローリング法。それは、指間ローリング(特に足指)。まとめ 交感神経の過度な興奮を抑制させる。自律神経のバランスを調整する。自律神経機能を高める。ローリング療法は疲労解消に効果的である。



千種ローリング健康センター  
丹野 泰男 先生  
ストレートネックへの対策と  
ローリング療法

ストレートネックとは、頸椎の生理的前弯角度30°以下の状態を示す。ストレートネックによる症状(上が向きにくい、頭痛、眼精疲労、耳鳴り、首痛、肩こり、めまい、顎関節症状、上肢のしびれ、吐き気、繰り返す寝違え等。原因(各筋肉の硬結、縮み、骨盤の過度な前弯後弯、日常姿勢(パソコン、事務作業、子供を抱く)赤ちゃんの頃、早期に歩行器を利用し、「はいはい」をあまりしなかった等。ストレートネック患者さん治療時の共通点・・・大腿後側が異常に硬い、小胸筋及び大胸筋にうっ血、攣感が多い、三角筋に筋肉の緊張が強い、肩甲骨、内縁、外縁、いずれかに大きな硬結、骨盤及び足関節にズレがある。大胸筋、小胸筋への直接アプローチや大腿後側へのアプローチでの有効性を今後も研究していく。



はたけやま鍼灸整骨院  
畠山 義啓 先生  
八網弁証  
~虚実に対するローリング療法~

十二経脈の流注順序  
肺↓大腸↑胃↓脾↓心↓小腸↑膀胱↓腎↓心包↓三焦↓胆↓肝この流れで気が1日50周する。弁証とは、望診(視覚により全身及び局所の状態を観察)聞診(聴覚と嗅覚により患者の声や分泌物などの匂いの異常をみる)問診(発生や進行、関連のある症状を聞く)切診・脈診(腹部、手、足、その他の部位を触診)弁証により、総合分析し、診断結果を出し、十二経脈の流注のどこに、虚実があるかを判断する。(ローリングのドーゼ) 虚↓表層 実↓深層まではいかないが、強刺激(筋肉の質の違い) 実↓筋肉に十分な栄養などがいきわたっているが、うっ血により代謝産物が蓄積し、筋肉が硬くなっている。虚↓筋肉に栄養などが回らない為に、筋組織そのものが栄養失調となり硬くなっている。



整骨院のなか五行.  
野中 康明 先生  
ローリング療法の整骨院

整骨院のなか五行、の概要説明。治療業界現状(養成学校乱立とクオリティの低下)と整骨院業展望について、ざっくりはらんに説明。「教育は共育」をモットーに「標準化+フィードバック」の人財育成を実施している。実技評価表・説明評価表・成長の記録・挨拶チェック表などで標準化を計り、フィードバック・報告連絡相談を中心にコミュニケーションを活性化している。「やって見せ言っかけて聞かせてやらせてみる」  
養ってやらねば人は動かじ」山本五十六院の理念を、知る↓言える↓書ける↓理解↓教えられるレベルまで高めていく。目的「幸福の種蒔き」を明確にし、よき仲間仲間にも高最幸のチームを目指して、日々の業に皆で取り組んでいる。



天王寺ローリング健康センター  
蜷川 麻子 先生  
施術と運動指導

左延髄梗塞後遺症(ワレンベルク症候群)の臨床報告。  
治療に於いては、「ローリング療法12箇条」基本の重要性を説く。  
ローリングと運動は相乗効果で患者さんのQOLの向上が期待できる。運動を通じて感じた不安材料は、次回ローリング施術時に改善することができるため、施術者が気付かなかった不調のサインも見つけることができる。矯正体操1 引つ張り体操 矯正体操2 腰ひねり体操の紹介。(運動指導の注意点について)  
●無理をしない。●継続させる(継続できるような内容を提示)  
・見本をみせて正しい動きを伝える。・実際にやってみてもらって運動効果を体感してもらおう。・運動強度をきめて目標をもってもらう。

<消費税率変更に関するお知らせ>

平素はローリング器具をご利用いただき、誠にありがとうございます。2014年4月1日（火曜）から消費税率が8%に引き上げられることに伴い、以下のとおり対応いたします

1. 新消費税率の適用 2014年4月1日（火曜）以降の器具販売（書籍、部品(含)）より、消費税率8%を適用します。
2. 器具販売改定価格一覧表を作製し、会員の皆様には送付いたします。
3. ホームページ等の販売価格の記載を変更します。

何卒ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



あびこローリング健康センター  
村松 剛至 先生  
仙腸関節とローリング療法  
～2012年度 天王寺研究会報告発表～

最も印象に残る研究発表者に  
選ばれました！

今回の発表を迎えるまでに、大勢の人に助けて頂きました。忙しいのに文句も言わず数年前のカルテを一から見直してくれ、約10回のメールのやりとり、電話をさせていただいた弘豊先生。天王寺の代表として「発表させてください！」と言った若造に対して、頑張れよ！と声をかけていただいた野島先生。そして、アドバイスをしてくれた協会の方々。文句も言わず、被験者になっていたいただいた患者さん。そして、学術大会の運営をスムーズにやっていたいただいたスタッフの方々。たくさんの方のおかげで、この最高の経験が出来たと確信しております。本当に良い経験を与えていただき、ありがとうございます。最後に、「僕はローリングが大好きです！」。

村松 剛至

仙腸関節の、わずかなズレが「腰痛」「坐骨神経痛」「股関節痛」「膝痛」に影響していると考え、仙腸関節へのローリング法を研究。浅層ローリング法と深層ローリング法、仙腸関節運動法（牽引）（片手法と両手・反発法）を紹介。臨床の現場で、パトリックテスト陽性側の反対側の仙腸関節ローリング法と運動法を施すことにより、前述の症状（急性腰痛のみの発表）とパトリックテストが容易に改善できた。

例：被験者20名全員の急性腰痛者に対する症状の変化を認めた。

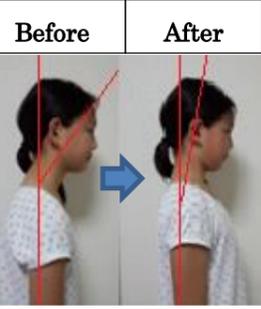
（内訳（20名） 著効11名、有効・8名、悪化・1名）

仙腸関節をローリングする事で、仙腸関節への直接刺激、筋への血液循環の促進、脳脊髄液循環促進、気血の流れ促進等により仙腸関節の硬さが改善し、各症状緩和につながったと考察。



ローリング施術所ひろた  
廣田 美佐子 先生  
肩関節周辺の鬱血と改善について

肩関節の鬱血を取る方法として、2006年天王寺研究会可動域からのアプローチ、反射区、2013年頸、肩を楽にするローリング法を活用。各年齢、性別、職業に分けて症例報告を行う。姿勢における改善だけでなく、喘息、メニエル、頭痛などの、症状緩和につながり喜ばれた。また自己体験から、キッズローリングへの重要性を訴え、乳幼児からの年代別に分けて症例を発表。ローリング療法で元気な子供たちを応援している。



ゆる美楽  
山本 友子 先生  
ローリング療法と口腔の状態について

ローリング療法は、さわれない患部（今回は歯周部）にも良い結果を出すことが出来る。また、何か異常（今回は歯周病）になった場合でも最小限の異常で済み、健康の底上げが確実にできる。歯科医の気づき（ローリング療法を受けている患者さんと受けていない患者さんとの比較・ローリングの患者さんは、歯科治療に対する反応が良い（治りが早い）、本当に悪い箇所のピンポイントのみに症状が出ていて、周りが一緒に腫れたりするなどの異常がほとんど出ない。

（恩師の言葉）悩みは患者を治療する時には邪魔になるから、治療している最中は、悩みながらかけるくらいなら何も考えるな。その分ローリングの力を信じる。血液が流れれば良くなる。自分がどうしようよと思うな。基本に忠実に素直にローリングをすればいい。



特別講演者  
荒井 ゆき江 先生  
「聞く力」とコミュニケーション

人前で話す時は ◎何を伝えたいのかを明確にする。準備と練習を繰り返す。↓プレゼンはビデオに撮って自分を客観視してみる。緊張を味方につける。笑顔で話し始める。あがりの対処法は↓聞き手の反応に意識を向ける。大勢の前にする時は会場をブロック分けし、それぞれのブロック別に、その中のひとりの目を見て伝えていく。プレゼンテーションを聞く側も、講演者にアイコンタクトし、目で話を聞く「アイコミュニケーション」をサポートすることが大切。※荒井先生が理事を務められている、日本プレゼン・スピーチ能力検定協会のホームページがリニューアルされましたのでご紹介いたします。

「 <http://www.spliken.jp/> 」



ラウト イジェーネ  
福井 亮大 先生  
足底表層刺激が立位バランスに  
与える影響

厚生省2010調査によると、介護が必要となる理由の10%を転倒、転落が占める。転倒、転落の結果、高齢者に多い症状が、股関節頸部骨折。高齢者の頸部骨折の予後は回復が遅く、入院や寝たきりによる運動障害や、体力低下による肺炎などの二次障害が起すことも多い。足底刺激が立位バランスに好影響なのは知られており、立位バランス能力の向上に関する文献は多い。そこで、ローリングによって改善ができないかと考え、ワイドグリップを利用し、表層刺激を取ることを当研究で行った。バランスをEMGボードにて、立位バランスを測定。左片脚立位、閉眼閉脚立位（各20秒）で測定。結果 施術前後で有意差が認められ、立位バランスの改善が見られた。改善の理由として①触圧覚刺激による支持面拡大 ②足底メカノレセプターの刺激による賦活化 ③感覚器フィードバックによる反応速度の変化

学術大会後は、親睦会が行われました。

（ドーゼ研究会の企画、運営者の方々ありがとうございました）皆様の力を借りること

で、第四回学術大会も無事に終えることが出来ました。講演内容も毎回レベルが向上しているように思います。次の開催は四、五年後でしょうか？この学術大会が皆様にとって、良い刺激となり、ますますのローリング療法の発展となりますよう祈願いたします。

会長 養原弘豊